

講義名	アジア経済論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	辻 美代		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	23100

主題と概要

2010年、中国のGDPは日本を凌駕した。本講義ではアジア経済の新旧リーダーである日本と中国の関係を中心にアジア経済の発展を考える。
 授業では先ず、東アジアにおける経済発展を投資・貿易を通じて、具体的には繊維ビジネスを通じた東アジアの経済発展を考える。繊維ビジネスとして取り上げるのは、一国の経済発展で最初に工業化されるのが繊維（アパレル）産業だからである。そして、かつての日本がそうであったように、現在、中国繊維（アパレル）企業はアジア諸国への直接投資が始まった。
 授業で繊維産業はじめ中国の代表的な産業と企業を取り上げ、中国経済発展のダイナミズムを講義する。

到達目標

学生は、戦後「東アジアの奇跡」と欧米から驚嘆されたアジア経済発展の概略が分かるようになる。
 世界経済に大きな影響を持つ中国経済の発展が分かるようになる。
 アジアにおける相互依存関係が分かるようになる。

提出課題

評価の基準

・平常点（小テスト含む）・・・30点
 ・定期試験・・・70点

履修にあたっての注意・助言他

中国およびアジア地域に興味を持ち、テレビ・新聞・雑誌などを通じて関連情報を取得するようにしてほしい。

教科書

教科書は使用しない。

プリント資料及び参考文献

小島麗逸・堀井伸浩編『巨大化する中国経済と世界』アジア経済研究所、2007年
 佐々木信彰編『現代中国の産業と企業』晃洋書房、2016年
 佐々木信彰編『転換期の中国の企業群像』晃洋書房、2018年

授業計画

1. 授業の主題とアジア経済の動向
2. アジアの発展と繊維ビジネス
3. ASEANとNIES
4. ASEAN共同体
5. 中国の改革開放政策
6. 中国WTO加盟
7. 中国の経済発展 - 「世界の工場」から「世界の市場」へ
8. 中間まとめと小テスト
9. 繊維産業の発展と企業
10. 繊維産業の発展と企業
11. 産業の発展と企業
12. 産業の発展と企業
13. 米中貿易摩擦
14. 中国経済の構造転換
15. まとめ

予習・復習

授業内で指示する参考文献を一読すること

備考